

2. 公開シンポジウム

日本台湾学会第 24 回学術大会 公開シンポジウム

日台関係の 50 年

— 日華断交を超えて —

日時：2022 年 5 月 28 日（土）13:00-16:00

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス G201 教室（詳細については別紙 6 を参照）

Cisco Webex オンライン会議（詳細については別紙 4 を参照）

主催：日本台湾学会

司 会：清水 麗（麗澤大学）

基調講演：林 碧炤（国立政治大学 名誉教授）

報 告：福田 円（法政大学）

伊藤 信悟（国際経済研究所）

三尾 裕子（慶應義塾大学）

討 論：松金 公正（宇都宮大学）

清水 麗（麗澤大学）

使用言語：日本語・一部中国語（会場は日本語が主、オンラインは同時通訳あり）

備 考：参加費無料、会員以外の方も参加できます。

会員以外の方の参加は、下記 URL から事前登録が必要です。

(<https://forms.gle/K5kz1xQn4scpBg146>)

【趣旨説明】

2022 年は 1972 年から 50 年、すなわち日中国交正常化 50 周年であり、それは日華断交 50 周年でもある。この 50 年間、日本と台湾の関係は大きく進展してきたという印象があるが、国際政治学、経済学、文化人類学など異なる学問領域から分析すると、この 50 年はどのように説明できるだろうか。国際情勢の変化により、日台関係の重要性が幅広く認識され、多くの人々が日台関係について学んだり、語ったりするようになった。そのような今であるからこそ、日本台湾学会の強みである学際性を活かして、この 50 年間の日台関係の歩みを振り返り、今後の 50 年を展望する機会をもちたい。

3. 分科会プログラム

日本台湾学会 第24回学術大会分科会プログラム

2022年5月29日（日）

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス（別紙6）／Webex オンライン配信（別紙4）

	G401 教室	G402 教室	G403 教室
第Ⅰ部 9:30-11:20	第1分科会(歴史学)	第2分科会(政治史・法社会学)	第3分科会(文学)
第Ⅱ部 12:30-14:20	第4分科会(文学)	第5分科会(文学・人類学)	第6分科会(社会学)
第Ⅲ部 14:40-17:20	第7分科会(文学・社会言語学) ※16:30 まで	第8分科会(ジェンダー・文学) ※16:30 まで	第9分科会(歴史学) 自由論題

***** 《第Ⅰ部 9:30-11:20》 *****

◇第1分科会(歴史学) 1セッション企画

戦間期台湾における開発と投資：総督府鉄道部と台湾銀行を中心に

◎企画責任者：松葉隼(一橋大学・院生)

◎座長：湊照宏(立教大学)

◎報告：

・李為楨(政治大学)

「日本統治期台湾銀行の南洋関与」

・松葉隼(一橋大学・院生)

「台湾総督府鉄道部の財政と投資」

◎コメンテーター：黄紹恒(陽明交通大学)、清水美里(名桜大学)

◇第2分科会(政治史・法社会学) 1セッション企画

戦後日台関係史の再検討—「台湾の政治犯を救う会」の事例を中心に

◎企画責任者：平井新(早稲田大学)

◎座長：藤野陽平(北海道大学)

◎報告：

・平井新(早稲田大学)

「東アジアにおける草の根市民運動の連帯—「台湾の政治犯を救う会」を事例に」

・許仁碩(北海道大学)

「台湾の長期戒厳体制に対する国際市民社会の抵抗—「台湾の政治犯を救う会」の事例を中心に」

◎コメンテーター：松田ヒロ子(神戸学院大学)、蔡易達(元・帝京大学)

◇第3分科会(文学) 自由論題

◎座長：豊田周子(名城大学)

◎報告：

・徐叔琳(大阪市立大学)

「琦君の散文と小説における叔父さんに関する考察」

・宋元祺(関西学院大学・院生)

「王詩琅の広州時代—空白を埋める試み」

◎コメンテーター：張文菁(愛知県立大学)、星名宏修(一橋大学)

***** 《第Ⅱ部 12:30-14:20》*****

◇第4分科会(文学) 1セッション企画

台湾の視覚詩の美学における時代／ジェンダー的展開

◎企画責任者：李癸雲(清華大学)

◎座長：三木直大(元・広島大学)

◎報告：

・陳允元(台北教育大学)

「世代という観点から読む林亨泰と白萩の視覚詩」

・李癸雲(清華大学)

「夏宇の視覚詩—言葉を超越した視覚的実験」

◎コメンテーター：田中雄大(東京大学・院生)、大東和重(関西学院大学)

◇第5分科会(文学・人類学) 自由論題

◎座長：富田哲(淡江大学)

◎報告：

・沼崎一郎(東北大学)

「東山彰良『流(りゅう)』における言語と歴史の複数性を考える—現代日本語小説の中の「台湾」と「日本」(2)」

・倉本知明(文藻外語大学)

「現代台湾文学における台湾語エクリチュールの日本語翻訳に関する比較検討」

◎コメンテーター：西村一之(日本女子大学)、黄英哲(愛知大学)

◇第6分科会(社会学) 自由論題

◎座長：堀内義隆(三重大学)

◎報告：

・佐々木孝子(早稲田大学)

「「社区発展」に関する研究動向の変化(1971-2004)：テキストマイニングによる探索的研究」

・齋藤幸世(関西学院大学)

「台湾のエスニック・グループをめぐる統合と共生の両立—蔡英文の総統選演説における多言語の使い分けを中心に」

◎コメンテーター：星純子(茨城大学)、中川仁(明海大学)

◇第7分科会(文学・社会言語学) 自由論題

◎座長：唐顯芸(同志社大学)

◎報告：

・松崎寛子(日本大学)

「幸佳慧の児童文学にみる記憶の語りとエコクリティシズム：鄭清文の児童文学との比較から」

・呂美親(台湾師範大学)

「1990年代の台湾語文学運動の再考：台湾文学史における第三次「文学改革」を中心として」

◎コメンテーター：八木はるな(元・高崎経済大学)、吉田真悟(一橋大学)

◇第8分科会(ジェンダー・文学) 1セッション企画

台湾レズビアン文学における「開放的連帯」

◎企画責任者：橋本恭子(日本社会事業大学)

◎座長：劉靈均(相模女子大学)

◎報告：

・劉靈均(相模女子大学)

「越境するレズビアン小説における開放的連帯：李琴峰『ポラリスが降り注ぐ夜』を中心に」

・橋本恭子(日本社会事業大学)

「移動する半閉鎖的下層共同体における開放的連帯：凌煙『失聲畫眉』を中心に」

◎コメンテーター：前原志保(九州大学)、三須祐介(立命館大学)

◇第9分科会(歴史学) 自由論題

◎座長：北村嘉恵(北海道大学)、清水麗(麗澤大学)

◎報告：

・黒羽夏彦(成功大学・院生)

「日本の台湾領有当初における「土匪」認識の相剋－林少猫事件を事例として(1896～1902)」

・義家文春(東京外国語大学・院生)

「台湾接收時における日本軍嚮導者についての一考察－辜顕榮台頭の原点を再考する」

・森巧(一橋大学)

「中華民国のアジア地域経済協力構想と日米華関係（1956年－1960年）」

◎コメンテーター：新田龍希(早稲田大学)、何義麟(台北教育大学)、松本はる香(アジア経済研究所)